



双塔

カトリック新潟教会

2026 年 8 月

No. 458

「あなたはあなたの愛で私の心を射抜かれました」

主任司祭 田中 丈夫

『わたしは聖アウグスティヌスの子です、アウグスチノ会士です』。教皇レオ 14 世は教皇選出直後のサン・ピエトロ大聖堂のバルコニーからの『最初の祝福』の中でこう述べた(カトリック中央協議会 HP)。

ここでは、山本芳久著『ローマ教皇－伝統と革新のダイナミズム』-第 4 章 レオ 14 世-「落ち着かない心」-(p121~p188)をもとに、聖アウグスティヌスに支えられる教皇レオ 14 世の姿を追う。

「キリスト教の伝統に対する忠実さと現代喫緊の社会問題に対する積極的・革新的な対応の共存というレオ 13 世の精神こそ、レオ 14 世が受け継ごうとしているものだと言って間違いないだろう。」「だが、そこには、一点、大きな違いも見取れる。それは、レオ 13 世が主に依拠しようとしたのがカトリック最大の神学者・哲学者であるトマス・アクィナスであったのに対して、レオ 14 世が主に依拠しようとしているのが西洋キリスト教思想の根幹を形作ったと言っても過言ではないアウグスティヌスだという違いである。」

「トマス・アクィナスの魅力は、古代ギリシア哲学(とりわけアリストテレス)、旧約聖書、新約聖書、アウグスティヌスに代表される伝統的なキリスト教思想家という、かなり異なった傾向をもつ様々な思想群を統合し、極めて整然とした神学・哲学体系を築き上げたところにある。トマスの膨大な著作群を網羅しても、トマスが個人的な思いを率直に吐露しているような部分はほとんど見出すことができない。あくまでも客観的に三人称的な記述で神やこの世界や人間について冷静沈着に語る。良くも悪くもトマスのテキストの魅力と限界はそこにある。」

「それに対して、アウグスティヌスは、一人称で自らの経験を語り、二人称をつかって『あなた』と神に呼びかけ、生き生きとした言葉で自らの人生遍歴を率直に語りだす。そこで語られる赤裸々な欲望と野望、成功と挫折、様々な愛とその挫折、友人の死、成功しても満たされない心など、信仰の有無を問わず現代人の心に深く訴えかけてくる内容が詰まっている。」「また、キリスト教世界に生れ落ち、すぐに洗礼を受け、キリスト教の信仰を有するのが当たり前の時代環境においてキリスト教の神学者として活躍したトマスとは異なり、ローマ帝国の多元的な宗教状況の中に生まれ、『善い神』と『悪い神』の二つの神の存在を認めるマニ教に入信したり、その教えを捨てて懐疑論に陥ったりといった様々な知的・宗教遍歴を経たうえでキリスト教の信仰を持つようになったアウグスティヌスは、キリスト教的な神の存在を自覚的に認めて生きた時期と、そうではなかった時期の両方を経験しており、自らの経験を踏まえつつ、キリスト教の信仰を持たない者にも届く言葉を語ることでできる人物である。」「アウグスティヌスは、様々な人生経験を通じて、また『神の言葉』である聖書を熟読する経験を通じて、少しずつ『神』と呼ばれる何ものかの呼びかけを心の奥底で聞くようになり、キリスト教の信仰を持つにいたる。アウグスティヌスにとって、神を信じるとはすなわち、神を愛することにほかならない。」

「バチカン公式ウェブサイトには、(教皇レオ 14 世の)紋章に関する解説が載せられている。『白地の領域には、アウグスチノ会の紋章である【矢に射抜かれた燃える心臓】が描かれています。このイメージは、聖アウグスティヌスが【告白】の中で語った次の言葉を象徴的に表しています。―【あなたはあなたの愛で私の心を射抜かれました】。...』」

2026 年 4 月 14 日版朝日新聞(デジタル版)に次のような記事が掲載された。「戦争反対を公言する教皇にトランプ氏は『犯罪対応が弱腰』と激しく反応し、教皇選出が自らの功績であるかのような主張まで展開。宗教指導者に予先を向ける異例の応酬になっている。」「これに対し教皇は 13 日、アフリカ歴訪でアルジェリアに向かう機内で記者団に『私はトランプ政権を恐れてはいない。福音のメッセージを力強く伝えることも恐れない。それが私の使命だ』と語った。...」「教皇が力強く伝えることを恐れないとした福音書には、イエスはこう語ったと記されています。『平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる』(コメントプラス)」

神の愛で心を射抜かれた教皇レオ 14 世の平和を願う熱い思いが象徴的に伝えられた記事であると思う。

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「おしらせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutoul656@gmail.com）

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 センター研究室 指導 田中神父

●信仰養成講座

日時 毎月第2、第4土曜日 午前10時～ 会場 センター研究室 指導 町田神父
※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。 ※8月から月2回に変更。

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでもご参加いただけます）

今後の予定 8月休会、9月28日(月)、10月12日(月)※、11月9日(月)、12月7日(月)

※成井司教銀祝、アンリ神父ダイヤモンド祝記念ミサ参加をもって例会に代える（申込み受付終了）

時間 午前10時半～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●カテドラル保存会・特別献金の継続のお知らせ（小教区評議会、建設・記念事業委員会）

皆様からのたくさんのお祈りとご寄付をいただきまして、
聖堂工事に関する特別献金は6月末で目標額を達成いたしました。
心より感謝申し上げます！

これまで週報などでお知らせしたとおり、聖堂で追加工事がありましたので、当面の間、特別献金は継続いたします。

●平和旬間講演会のご案内（新潟教区カリタス委員会）

（テーマ）～東日本大震災・原発事故から15年～

大切ないのちを守り、未来に繋げるために・・・

講師 一般社団法人カリタス南相馬 所長 根本摩利 氏

日時 8月9日（日）13時～14時30分

会場 カトリック新潟教会 カトリックセンター2階

参加費 無料

※Zoomにてご参加の方は、新潟教区ホームページのお知らせをご確認ください。

●双塔「王であるキリスト号」への原稿を募集します（広報部）

11月22日に発行する双塔への原稿をお寄せください。聖堂後方の募集箱またはメールでも受付します。400字×5枚以内（2,000字以内）でお願いします。短くても大丈夫です。

メールアドレス：soutoul656@gmail.com 締切：10月4日(日)

●高薮神父様の追悼ミサのご案内（教区）

9月8日（火）10時30分より、司教座聖堂（新潟教会聖堂）にて追悼ミサを行います。
本ミサは司祭とご遺族によるものですが、ミサに与りたい方はご自由にお越しください。

特別献金 集金状況（6月末現在）

¥40,274,052



2026 年 8 月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
2 日(日)	年間第 18 主日 ・小教区評議会（9:30 ミサ後 研究室） ・英語ミサ（12:00）・清掃日（センター、外のトイレ：英語ミサ後）
6 日(木)	主の変容（祝） 日本カトリック平和旬間（～15 日）
7 日(金)	・ミサ 10:00（初金）
8 日(土)	・信仰養成講座（10:00 研究室／指導：町田神父）
9 日(日)	年間第 19 主日 ・総務部会（9:30 ミサ後 研究室） ・平和旬間講演会（13:00 カトリックセンター2 階）
10 日(月)	聖ラウレンツィオ助祭殉教者（祝）
13 日(木)	・墓参（日和山墓地 17:00）
15 日(土)	聖母マリアの被昇天（祭） ・ミサ 10:00 ・祝賀会（ミサ後 研究室）
16 日(日)	年間第 20 主日 ・清掃日（聖堂、外のトイレ、センター：9:30 ミサ後） ・国際協力部会（清掃後 研究室） ・広報部会（清掃後 事務室） ・ベトナム語ミサ（12:00）
22 日(土)	・信仰養成講座（10:00 研究室／指導：町田神父）
23 日(日)	年間第 21 主日
24 日(月)	聖バルトロマイ使徒（祝）
28 日(金)	聖アウグスティヌス司教教会博士（記） ・田中丈夫神父様霊名の祝日
30 日(日)	年間第 22 主日 ・教会維持費の整理（9:30 ミサ後 事務室）

※ ミサ時間

日曜日（7:00、9:30） 英語ミサ（第 1 日曜 12:00）

ベトナム語ミサ（第 3 日曜 12:00）

火曜～木曜、土曜（7:00） 金曜（10:00）

★朝ミサ 7:00 は休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

※ 聖堂開堂時間

毎日 9:00～18:00（都合により左記時間が変更となる場合がございます）

月刊「双塔」毎月 1 回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部

カトリック新潟教会 〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656

<https://cathedral-niigata.jp/> TEL025-222-5024 /FAX025-222-5054

